



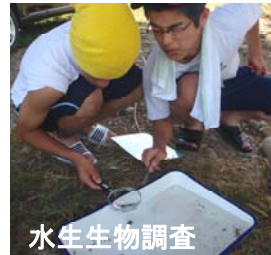
8月2・3日

大石田中学校2年生が職場体験 **国交省の「出張所」ってどんな仕事をするの？**

大石田中学校の生徒（2年生男子2名）が、二日間にわたり大石田出張所で「職場体験」を行いました。生徒たちは実際に堤防を歩いたり河川施設を見学したりしながら、地域の河川を守る「出張所」の仕事を経験しました。

☆ 生徒感想 ☆

- 川の管理などをしている人がいるとわかって驚いた。仕事はかなり多いし川の事をすごく気に掛けていて、神経がすり減るようだった。でもやってみると楽しい仕事が多くてやりがいを感じました。
- 除草体験のときはすごく神経を使った。水質調査では川のきれいさなどがわかって良かった。意外と楽しいと思った。すごくいい経験になりました。



水生生物調査



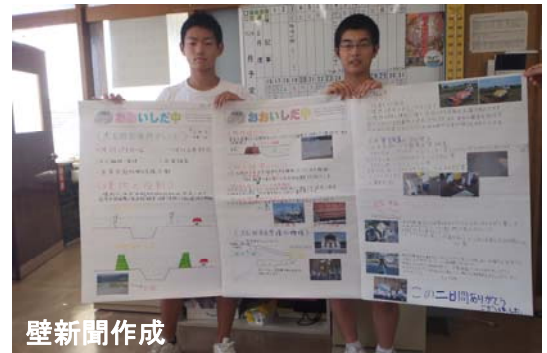
水質調査



除草体験



排水樋管操作体験



壁新聞作成

7月21日 大石田町教育委員会主催

「トムソーヤの冒険in丹生川」大石田町内の小学生と『水生生物調査』をしました



あっ、いた！



大きな石の裏側かな？

どこにいるかな？



この薬品に川の水を入れると色が変わるよ。やってみよう！

大石田町内の3校の小学生26名（3～6年生）が参加した大石田町の総合体験活動事業に当出張所からスタッフとして2名参加し、子ども達と一緒に「水生生物調査」を実施しました。「ふるさと子ども文化を考える会」の海藤仁さんより、水生生物の種類や調査方法などを教えてもらいながらヒラタカゲロウなどを捕まえました。

また、検査薬（COD・PH）を使い水質調査をしたところ、丹生川は「きれいな水」という結果となり子ども達の嬉しそうな様子がみられました。

場所：丹生川（岩ヶ袋）、水温：17.5度、気温：21度、時間：9:30～11:20



調査結果

ヒゲナガカワトビケラ	約70匹
ヒラタカゲロウ	約5匹
カゲロウ	約5匹

平成24年度
水生生物調査

調査の結果、丹生川は「きれいな水」でした！

大石田町内の小学生

6月2日

尾花沢市立
明德小・高橋小

最上川200キロを歩く in大石田

山形新聞・山形放送8大事業の一つ「最上川200キロを歩く 小学校探検リレー」が、大石田管内で行われました。今年は、2校から5年生計21名が参加。子どもたちは雄大な最上川沿いを歩きながら、排水樋管の操作や大石田消流雪施設の見学、除草体験、水生生物調査など最上川について学びました。川とふれ合いながら楽しい一日を過ごしました。



丹生川床固め(すいか橋より)

排水樋管



横山特殊堤



7月1日

「山形新幹線に手を振ろう!!」



山形新幹線(東京-山形間)が開業20周年を迎え、山形新幹線が地域とともに歩んできた20年目を、みんなで新たな記念日にするため、「沿線スマイルプロジェクト」イベントが開催されました。

当日は、つばさ133号車中にカメラを搭載し、米沢→新庄間走行中に笑顔で手を振る様子を撮影し、山形から全国に元気な姿をPRしました。

新庄河川事務所では、大石田出張所付近の沿線に集合し、横断幕を掲げて皆で大きな笑顔で手を振ってアピールしました。この日撮影した映像は、JR東日本仙台支社のHPで公開中です。



大蔵村肘折地区地すべり性崩壊及び銅山川河道閉塞に関わる 新庄河川事務所の取り組み

平成24年4月10日大蔵村肘折地区で地すべり性崩壊が発生し銅山川の河道が閉塞され、温泉街は浸水の危険が及び、さらなる崩壊による温泉街での浸水が危惧されました。



当事務所では直ちに現地対策班を派遣・常駐させ、無人施工用バックホウ（遠隔操縦）などの災害対策機器・車両および資材を配備し、監視カメラを中心とする監視システムを整備しました。

また地すべり調査と観測・解析を集中的に実施し、次期崩壊による浸水範囲の想定に対する応急対策計画を策定し ①暫定的な堤防かさ上げ、②緊急除石のための渡河施設に県と連携して着手しました。

地すべり挙動解析による住民避難に関わる情報を大蔵村に積極的に提供し、5月13日20時40分頃、再度崩落し土砂埋塞が生じましたが、暫定的な堤防により温泉街への氾濫にはいたりませんでした。渡河施設の設置が6月末に完了し、県による仮排水路の設置工事も完了したことから、8月11日に県知事が「安全宣言」を行いました。

6月6日

最上川をボートで巡視しました



ボート船上より最上川の巡視を行いました。通常の河川巡視ではパトロールカーや徒歩で堤防から点検しますが、年二回のボート巡視では地上から発見しにくい箇所を重点的に点検・状況把握し、河川の安全管理を実施しております。

巡視区間 最上川：村山市赤石～舟形町堀内 約32km



橋脚確認



河岸崩壊



流木確認

7月24日

建設事業関係功労者 新庄河川事務所長表彰 大石田管内より3名受賞!

この度、15年以上にわたり排水樋管の操作業務に継続的に従事された方々が受賞されました。
誠にありがとうございました。



井苺八郎さん



酒井富美雄さん 酒井惣二郎さん



酒井 惣二郎 様 (芦沢第二排水樋管操作員)
酒井 富美雄 様 (芦沢第三排水樋管操作員)
井苺 八郎 様 (川前第一排水樋管操作員)

掲 示 板 大石田管内「河川愛護モニター」さんより

戸田 志津子 さん (尾花沢市)



「にうがわおゝはし」

モニターさんからの質問
同じ橋なのに名前が漢字とひらがなで書いてあります。
何か決まりがあるのでしょうか?

橋名(ひらがな)③

河川

河川名(漢字)②

路線
終点側
橋
路線
起点側

④完成年月(漢字)

①橋名(漢字)

(回 答)

橋梁が完成した場合、その橋梁に名板を取付けることとなりますが、その名板は上記の①～④の内容・位置で取付けるのが標準となっております。



「丹生川大橋」

大山 二郎 さん (大石田町)

大石田町は舟運で栄えた町ですが、私も最上川と一緒に育ってきました。

小学6年までは夏になると皆で泳いでいましたし、よく魚釣りもしていました。ただ昭和40年半ば頃から川が汚れはじめ、今では川底を見ることが出来なくなり残念なことです。

普段は穏やかな川も時として悪魔へと変身します。昭和42年8月29日の大洪水は今でも記憶に残っています。地区に伝わる庶務日誌には「大洪水にて本町通り道路上二尺浸水、殆どの家屋床上一尺～二尺浸水す」とあります。その後は堤防がより整備され大きな被害はなくなりましたが、整備後50年近くたち一抹の不安は拭えません。河川の堤防整備に伴い、上流降雨時、増水までの時間が短くなってきたからです。堤防決壊だけは絶対に避けなければなりません。最近には主に内水被害が多く、そのためなのか大型の排水ポンプ車が整備されていますが、効率的運用が成されているのか疑問もあります。国交省の皆さんには今後とも住民の生命財産を守るためご尽力頂きますようお願いいたします。

(回 答) 貴重なご意見ありがとうございます。内水被害を最小限にいとめられる様に、大石田町と連携をはかりながら迅速な対応に努めて参ります。

河川に関するご意見をお寄せ下さい

国土交通省 新庄河川事務所 大石田出張所 担当 阿部・鈴木

〒 999-4113 大石田町大字今宿字鷺の原466-2

TEL0237-35-2024 FAX0237-35-2354

<http://www.thr.mlit.go.jp/shinijyou>



丹生川すいか橋